

平成 28 年 6 月 24 日

学校法人 染葉学園
理事長 清水久史

平成 27 年度 学校の自己評価・関係者評価結果書

学校法人染葉学園学校評価委員会は平成 27 年 3 月より平成 27 年 6 月までに教員による自己評価を実施、さらに学校関係者評価を実施しました。学校関係者評価委員は下記の皆さま方です。

平成 27 年度 学校評価関係者委員会

委員長	鈴木 敏弘 氏	静岡県家庭教育学会西部地区役員
委員	大竹 繁 氏	磐周歯科医師会顧問 (元会長)
委員	杉田 久子 氏	料理研究家 (クッキングスタジオ チャコ主宰)
委員	馬淵 佳奈子氏	獣医師
委員	門名 保典 氏	元公立高等学校教頭
委員	二橋 サカエ氏	美容着付け師
委員	竹下 政則 氏	(福) 圓通福祉会 広瀬保育園 副園長
委員	竹田 祐樹 氏	(福) 浜岡厚生会 はまひるがお施設長

平成27年度 自己点検・自己評価結果書

東海文化専門学校

評価項目	関係者評価	これまでの改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	教職員・講師は、年2回の講師会を通して共通理解を図っている。生徒に対してはHR活動や全校集会を通して十分な指導を行っている。また、外部に対してもホームページや学校説明会を利用して発信している。	新入生オリエンテーションの中で理念と目標について担任から十分な時間をとり説明が行われた。2,3年生についてはHR活動の中で「学校生活の手引き」を使用して指導が行われた。今後は、さらに意識を高めるため、言葉だけでなく視覚に訴えかけるよう、職員室や各教室に掲示を行う。また、全校集会の際、声に出し全員が共通理解を図る。
教育活動	高等専修学校としての時代のニーズや各科の特色に合わせたカリキュラムにより、資格・検定の合格や生徒の学習意欲の向上のための教育活動が行われた。検定の合格率を向上させることが、今後の課題である。定期試験についても、テスト対策の実施や再テストにより学習内容の定着を図っている。放課後などには、知識・技術向上を目指す生徒のために教室などを開放している。	各クラスとも担任・副担任制をとり、行き届いた生徒指導が実践できた。また、今年度より歯科助手認定講習が実施され取得資格が増加した。英語・国語・数学については、習熟度別クラスによる授業が展開され生徒の理解と学力の定着が図られた。
学生受入れ	中学校訪問や進路説明会、オープンキャンパスを通して本校の魅力を紹介することができた。募集要項等は、中学校からの要望を踏まえ検討していくことが望ましい。	周辺地域以外の中学校訪問や進路説明会に積極的に参加し、学校の良さをアピールすることができた。ブログ等による学校紹介も充実した。オープンキャンパスでは、中学生や保護者参加型の体験授業を実施し興味関心を高めた。今後は、学びたい気持ち強い生徒をさらに確保したい。
教職員組織	各クラスとも担任・副担任制をとることにより、業務が分担でき生徒対応も充実した。新任教員が副担任として配置されたため、担任が指導役となり日々の業務が研修となった。教職員の共通理解のもとで業務が行われているため適切な学校運営が行われている。	新任教員の研究授業も定期的に実施された。校務分掌も教員の持ち時間や適性を考慮して担当を決定することができた。また、近年職員の定着が続いており職員室の雰囲気がとても良くなった。
施設 設備 等	実習設備については、各科とも学習目標が十分達成できるように整備されている。視聴覚機器が充実したことで、授業だけでなく行事など様々な面で活用されている。また、教室内の大型テレビは授業の中で有効に使用されている。	職員室の管理を徹底するため、鍵の所持は校長・教頭・日直に限定した。特別教室の管理についても鍵の持ち出し、返却を教員が把握できる体制を整えた。設備については、経年劣化が見られる。授業を行う上で、安全面が確保できるよう改善が必要である。
学生生活支援	特待生制度、奨学金制度により学費の支援が行われた。進路指導についても担任、副担任の連携のもとで指導を行うことができた。さらに、外部の情報交換会等にも積極的に参加することができた。	学校行事等は終了後、常に反省会を行うことにより次回への検討材料を改善することができた。生徒の学校生活をより良いものとするため必要に応じて保護者との面談も実施した。
管理 運営	理事・評議員会は必要に応じ適切に開催され、十分な機能が果たされている。就業規則、学則ともに教職員への徹底が図られた。個人情報についても厳重に保管されている。防災についても計画に基づいて実施された。教員間の連携も徹底した共通理解のもとで行われている。	個人情報等の書類の管理は、必ず施錠できるところに保管している。事務室の入室は総務課職員の退勤後は行わないようにしている。職員室の鍵は管理職などの限られた教職員が所持し、情報の管理を徹底している。

平成27年度 自己点検・自己評価結果書

東海文化専門学校

評価項目	教職員自己評価	前年度の改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	教職員・講師は、年2回の講師会を通して共通理解を図っている。生徒に対してはHR活動や全校集会を通して十分な指導を行っている。また、外部に対してもホームページや学校説明会を利用して発信している。	新入生オリエンテーションの中で理念と目標について担任から十分な時間をとり説明が行われた。2,3年生についてはHR活動の中で「学校生活の手引き」を使用して指導が行われた。
教育活動	高等専修学校としての時代のニーズや各科の特色に合わせたカリキュラムにより、資格・検定の合格や生徒の学習意欲の向上のための教育活動が行われた。検定の合格率を向上させることが、今後の課題である。定期試験についても、テスト対策の実施や再テストにより学習内容の定着を図っている。	各クラスとも担任・副担任制をとり、行き届いた生徒指導が実践できた。また、今年度より歯科助手認定講習が実施され取得資格が増加した。英語・国語・数学については、習熟度別クラスによる授業が展開され生徒の理解と学力の定着が図られた。
学生受入れ	中学校訪問や進路説明会、オープンキャンパスを通して本校の魅力を紹介することができた。募集要項等は、中学校からの要望を踏まえ検討していくことが望ましい。	周辺地域以外の中学校訪問や進路説明会に積極的に参加し、学校の良さをアピールすることができた。ブログ等による学校紹介も充実した。オープンキャンパスでは、中学生や保護者参加型の体験授業を実施し興味関心を高めた。
教職員組織	各クラスとも担任・副担任制をとることにより、業務が分担でき生徒対応も充実した。新任教員が副担任として配置されたため、担任が指導役となり日々の業務が研修となった。教職員の共通理解のもとで業務が行われているため適切な学校運営が行われている。	新任教員の研究授業も定期的の実施された。校務分掌も教員の持ち時間や適性を考慮して担当を決定することができた。
施設 設備等	実習設備については、各科とも学習目標が十分達成できるように整備されている。視聴覚機器が充実したことで、授業だけでなく行事など様々な面で活用されている。また、教室内の大型モニターは授業の中で有効に使用されている。	職員室の管理を徹底するため、鍵の所持は校長・教頭・日直に限定した。特別教室の管理についても鍵の持ち出し、返却を教員が把握できる体制を整えた。
学生生活 支援	特待生制度、奨学金制度により学費の支援が行われた。進路指導についても担任、副担任の連携のもとで指導を行うことができた。さらに、外部の情報交換会等にも積極的に参加することができた。	学校行事等は終了後、常に反省会を行うことにより次回への検討材料を改善することができた。生徒の学校生活をより良いものとするため必要に応じて保護者との面談も実施した。
管理 運営	理事・評議員会は必要に応じ適切に開催され、十分な機能が果たされている。就業規則、学則ともに教職員への徹底が図られた。個人情報についても厳重に保管されている。防災についても計画に基づいて実施された。教員間の連携も徹底した共通理解のもとで行われている。	個人情報等の書類の管理は、必ず施錠できるところに保管している。事務室の入室は総務課職員の退勤後は行わないようにしている。職員室の鍵は管理職などの限られた教職員が所持し、情報の管理を徹底している。

平成27年度 学校関係者評価結果書

学校名 東海福祉専門学校

評価項目	関係者自己評価	これまでの改善事項実施状況
教育理念 教育目標	教育理念と実践目標をパンフレットやホームページ、各クラスに掲示され視覚的に伝わるよう工夫し、学生、教職員も周知していた。	学校案内に教育理念や実践目標を掲載している。改善案のとおり校舎内にも掲示しており、適切に処理されていた。
教育活動	職員自身が有資格者となり専門的な知識と技術を持ち教える体制がとられていた。授業アンケートの実施結果から学生からの評価も高いことが確認でき、教職員の意識向上に努めていた。	改善案のとおり、「医療的ケア」のカリキュラムに合わせ、実践的教育を行っていた。授業アンケートを行い、教職員のレベルアップに努めていた。
学生受入	色々手を尽くしているが、高校生の実数が減少したこと等により苦戦している様子が伺えました。高校生だけではなく、中学生に対するアプローチがあっても良い。学校名が変わった事による知名度の低下を招かないようにできたらと思った。	オープンキャンパスを定期的に行ったり、個別相談や高校訪問を行うなど、参加者を増やすために周知方法の多様化を図っていた。
教職員組織	教職員は基準を満たしている。非常勤教員を活用することにより常勤教員の負担軽減を図っている事が確認できた。引き続き、職員の就業状態に配慮し、負担が集中しないよう組織を編成することが出来ればと思う。校務分掌については、職員会議で徹底を図っていた。	専任教員、非常勤職員についても充足を図っている。改善案どおり、適切に処理されていた。
施設 設備等	必要な設備は揃っていた。絵本など、学生が実習で使用する場合も考えられるので、定番のものなどは同じものを何冊か用意しても良いのではと思った。教室をリニューアルしていた。	大型モニターの活用が多くなり、教育効果を上げていた。学生の自家用車通学に対し、駐車場を確保しているなど、改善案のとおり適切に処理されていた。
学生生活 支援	経済支援、相談支援の実施を確認した。車通学ができるなど、通学には便利な環境が整っていた。求人データの学生閲覧は紙ベースと共にパソコンでも閲覧できていた。	行事計画改善を図っていた。また、施設奨学金の検討をしていた。
管理運営	理事会等適切に行われていた。防災備品は充足していた。全てにおいて、適切に運営管理されていた。	改善案のとおり適切に処理されていた。

平成27年度 自己点検・自己評価結果書

東海福祉専門学校

評価項目	教職員自己評価	前年度の改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	教育理念と共に教育実践目標を学校案内書やホームページ、教室など各所に掲示し、学生、教職員ともに熟知し意識を高めている	学校案内には教育理念・目標を掲載している。本校の伝統である教育実践目標は、校舎内にも掲示し外部の方からも評価を受けている。
教育活動	毎年度初めに講師会を開催し、シラバスの確認、教務規定や評価方法・単位認定方法を説明している。27年度より介護福祉科の教育課程を変更し新たな医療的ケアを実施した。欠席もなく全員が履修した。	カリキュラム、テキスト等は毎年度見直し実践的教育を行っている。授業アンケートはそれぞれの授業内容を教員が再確認する好材料であるので非常勤教員を含め全教員に実施している。学生に対しては、授業アンケートの目的、活用方法の説明が不足で次年度以降に役立つアンケート項目、自由記述項目などさらに徹底して実施したい。
学生受入れ	学園入試、AO入試などの志願者が減少してきている。	入学志願者の減少に歯止めがかからない状況である。オープンキャンパスに参加した受験生は本校を選択してくれる割合が高い、参加者を増やすために事前の告知方法を多彩にし参加者の実数を増やすことが重要な課題である。
教職員組織	教職員は基準を満たしている。校務分掌については職員会議で徹底を図っている。介護福祉科の「国家試験対策」、「医療的ケア」も教育課程表どおり行った。	27年度からの学科変更に伴う「国家試験対策」「療的ケア」も有資格者により実施した。次年度以降の専任教員、非常勤教員についても充足している。
施設 設備 等	講義室、実習室、図書室、保健室、職員室等、特に問題はない。図書室の蔵書について「えほん」を500冊以上整備した、教室等をリニューアルし、美観を整えた。	講師の授業においても教室の大型モニターの活用が多くなり教育効果を上げている。学生の自家用車通学が次第に多くなっているが十分な駐車場を確保している。
学生生活 支援	国により奨学金等経済的支援は確立され学費滞納者はない。個人的な問題や、メンタル的な相談が多くなりつつある。担任教員は相当な時間を割いている。進路については両科とも完全就職した。	特になし
管理 運営	災害を想定した訓練の実施は定期的実施している。防災備品の備蓄も非常食、水に加えエマージェンシーシートの購入など充実している。理事会、評議員会は適切に実施している。	特になし

平成27年度 自己点検・自己評価結果書

静岡歯科衛生士専門学校

評価項目	関係者評価	これまでの改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	学校案内書、オープンキャンパス、学校説明会、保護者会、入学オリエンテーション資料などに掲載、説明している。「人間性をそなえた心身両面の健康美」について、常時念頭に置き、専門学校で習得すべき技術のことだけでなく、挨拶の励行、物を大切に扱うことを指導している。	全校で行う行事においても事前に教職員間で教育目標の確認を行い、HRなどで学生の意識を高めている。今後共、継続が大切である。
教育活動	歯科衛生士国家試験は早めの対策を心がけ、100%合格を達成すべく取り組んでいく。学習の理解度を深めると共に学生の習熟度を見極める必要がある。また、保育所から福祉・医療施設に至るまで実習、実技に努めている。	新しく編成されたカリキュラムに対応し、学園内の専門学校と連携した授業も行っている。
学生受入れ	平成27年度入学生については定員に満たなかったが、高校卒業生のみでなく大学卒業生や社会人からも積極的に受け入れ、自己実現を目指せるよう支援をしている。国家試験の全員合格を目指して個別の指導も行っている。	目標が定まらない学生の指導については家庭とも早めに連絡を取りコミュニケーションを綿密に摂るよう心掛けている。退学者は少ない。
教職員組織	教員は目標をもち、資質向上に努力している。歯科衛生士教育協議会の研修にとどまらず関連分野のスキルの向上を目指し、自己研修にも意欲的である。	医療の日進月歩に対応し、また業界より求められる新たな歯科分野を含む研修、セミナー等を自己研修として積極的に受講してきた。
施設 設備等	施設・設備は共に整っている。教員は誰でも教育備品を使いこなせることが教育効果を高めることができる。歯科臨床室の設備のメンテナンスも細心の注意のもとに学生に点検させ、大事に取り扱っている。	普通教室1教室にもパソコン接続できるテレビモニターを完備した。補助金制度を利用し、レントゲン備品の交換を実施した。
学生生活 支援	学費分納・延納制度など様々な学費支援を行っている。卒業後も自己の口腔衛生管理の継続向上のための指導をしている。2年次より就職支援を行っている。	昨年度に引き続き、就職率は歯科衛生士として専門分野への就職100%である。
管理 運営	財務状況、事業報告書、自己評価結果についてはHPで公表している。理事会評議員会は適切に運営機能している。消防計画、防災訓練避難訓練等毎年度2回実施している。	学園4校合同で染葉オリンピックを開催した。グループ校にて、歯科に関する授業を行い、関連分野の知識及び技術の提供を行い交流を促進した。

平成27年度 自己点検・自己評価結果書

静岡歯科衛生士専門学校

評価項目	教職員自己評価	前年度の改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	学校案内書、オープンキャンパス、学校説明会、保護者会、入学オリエンテーション資料などに掲載、説明している。「人間性をそなえた心身両面の健康美」について、常時念頭に置き、専門学校で習得すべき技術のことだけでなく、挨拶の励行、物を大切に扱うことを指導している。	全校で行う行事においても事前に教職員間で教育目標の確認を行い、HRなどで学生の意識を高めている。
教育活動	歯科衛生士国家試験は早めの対策を心がけ、100%合格を達成すべく取り組んでいく。学習の理解度を深めると共に学生の習熟度を見極める手法として小テストを実施している。	就職先も考慮した臨床実習施設(歯科医院)毎年度追加し学生の弁を図っている。
学生受入れ	歯科衛生学科は入学定員の充足となった。	目標が定まらない学生の指導については家庭とも早めに連絡を取りコミュニケーションを綿密に摂るように心掛けている。退学者は少ない。
教職員組織	教員は目標をもち、資質向上に努力している。歯科衛生士教育協議会の研修にとどまらず関連分野のスキルもあげている。	今後、業界より求められる新たな歯科分野を含む研修など積極的に受講している。
施設 設備等	施設・設備は共に整っている。教員は誰でも教育備品を使いこなせることが教育効果を高めることができる。歯科臨床室の設備のメンテナンスも細心の注意のもとに学生に点検させ、大事に取り扱っている。	普通教室1教室にもパソコン接続できるテレビモニターを完備した。補助金制度を利用し、レントゲン備品の交換を実施した。
学生生活 支援	学費分納・延納制度など様々な学費支援を行っている。	昨年度に引き続き、就職率は歯科衛生士として専門分野への就職100%である。
管理 運営	財務状況、事業報告書、自己評価結果についてはHPで公表している。理事会評議員会は適切に運営機能している。消防計画、防災訓練避難訓練等毎年度2回実施している。	学園4校合同で染葉オリンピックを開催した。グループ校にて、歯科に関する授業を行い、関連分野の知識及び技術の提供を行い交流を促進した。

平成27年度 学校関係者評価結果書

静岡新美容専門学校

評価項目	関係者自己評価	これまでの改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	<p>学校案内書、オープンキャンパス、オリエンテーション、保護者会等あらゆる機会をとらえて説明されている。学生に浸透することが重要なので多くの場での指導継続を望みます。「人間性をそなえた心身両面の健康美」の理念と、技術以外の挨拶や言葉遣い、コミュニケーション能力の指導等もよりいっそう望みたい。</p>	<p>開校9年目となる本年度から教育課程も4専攻に分け、より専門性の高い、職業人の育成に努めている。学生の意識を高めるため、個々の目標を明確にできたらよいと思う。 業界及び在校生・高校生の要望に応える努力を評価したい。</p>
教育活動	<p>美容師国家試験に卒業生が全員合格を果たした。昨年に続くもので大いに評価したい。これは毎時間の授業目標を定め、高い専門性や技術レベルを維持・進化されている結果と思われる。学生から該当授業アンケートを実施して、講師を含めた教員のスキルアップを求める方策が機能している。</p>	<p>国家資格の取得に重点をおき検定期の見直し等の地道な努力の結果と思われる。模試に代表されるような試験対策の内容、実施面についてはいっそうの精査を求めたい。(教科担当の活用など) 『キララ』の活用が軌道に乗っているが、さらに有効活用されたい。</p>
学生受入れ	<p>今後も就職率、対外的な実績を外部に自信をもって発信されたい。</p>	<p>在校生からのモデル選出、パンフレット作成にも工夫が見られ、入学案内書、募集要項書が、わかりやすいレイアウトや文章で適切であった。 4専攻とした初年度なので今後、各コースのねらいをさらにPRできたらと思う。 学校HPをさらに充実されたい。</p>
教職員組織	<p>意識の高い、目標を持った学生が在籍している現状において、一人一人の教員の資質向上が不可欠である。個々の学生を知り、個を生かす、教職員間の連携をいっそう図られたい。</p>	<p>校務分掌は明確になっているが、職員も増えたことであるので、記録をしっかりと残り前任者の積み上げた成果を後任者がしっかりと引き継ぐ土壌をつくられたい。研修の実績や内容もファイルされたい。 自己研修制度を使っでの自己研鑽もさらに活用したい。 教務事務職員の役割が機能している。</p>
施設 設備等	<p>施設・設備は共に整っている。4専攻に分かれたこともあって、小人数に適した教室・実習室もあり活用されている。</p>	<p>図書館の書籍は、歯科、ファッション、美容と分野別に整備され雑誌、業界誌も活用できるようになっている。 パソコン接続可能な大型テレビモニターはさらに3台追加配置された。 シーズンものの教材・教員の保管場所があったらさらによい。</p>
学生生活 支援	<p>学習指導、生活・健康指導、就職指導など教職員が情報共有を行い、きめ細かく支援している。</p>	<p>学生ロッカーの管理を厳しくすることで個人情報や生活指導にも配慮している。 就職については、2年連続で業界からの求人も増加しており、全員早期に内定を得た。 退学者を減らす、さらなる努力を期待したい。</p>
管理 運営	<p>財務状況、事業報告書、自己評価結果についてHPで公表している。 ハザードマップの運用のさらなる充実。 防災訓練、避難訓練等を年2回実施し備えている。</p>	<p>新たなイベントとして学園4校合同で染葉オリンピックを開催した。 グループ校間で美容に関する授業ならびに行事における専門分野の技術提供を行い交流を促進した。 万一、不都合が生じたら、すぐに対応できる連絡や連携の体制を整えて行きたい。</p>

平成27年度 自己点検・自己評価結果書

静岡新美容専門学校

評価項目	教職員自己評価	前年度の改善事項 実施状況
教育理念 教育目標	学校案内書、オープンキャンパス、学校説明会、保護者会、入学オリエンテーション資料などに掲載、説明している。「人間性をそなえた心身両面の健康美」について、常時念頭に置き、専門学校で習得すべき技術のことだけでなく、挨拶の励行、物を大切に扱うことを指導している。	全校で行う行事においても事前に教職員間で教育目標の確認を行い、HRなどで学生の意識を高めている。
教育活動	毎時間の授業目標を定め、高い専門性や技術レベル、高い資格取得率を目指している。2年連続、美容師国家試験100%合格、対外コンテスト及び全国大会においても優秀賞を獲得している。磐田駅前の好立地を活かし1階の服飾店舗販売実習室「キララ」において販売及びディスプレイ実習を行っている。販売技術、製作などの実践的学習が定着し、大きな効果を上げた。	美容師国家試験合格率100%、その他の検定試験も全員が資格取得できるよう、講義科目は毎回の授業において小テストの実施、実技科目は復習課題の指示が定着してきている。
学生受入れ	美容学科は入学定員の充足となった。ビューティライフデザインコースについては、在籍者が少ない。	特待生制度により意識の高い、目標を持った学生が入学している。
教職員組織	意識の高い、目標を持った学生が在籍している現状において、一人ひとりの教員の資質向上が不可欠である。	今後、業界より求められる新たな美容分野を含む、教員資格取得を積極的に実施している。
施設 設備等	施設・設備は共に整っている。教員は誰でも教育備品を使いこなせることが教育効果を高めることができる。点検管理を充分に行うことが必要。	普通教室3教室にもパソコン接続できるテレビモニターを完備した。
学生生活支援	学習指導・生活、健康指導・就職指導など教職員が情報共有を行い、きめ細かく支援している。	就職については、2年連側で業界からの求人が増加している。
管理 運営	財務状況、事業報告書、自己評価結果についてはHPで公表している。理事会評議員会は適切に運営機能している。消防計画、防災訓練避難訓練等毎年度2回実施している	学園4校合同で染葉オリンピックを開催した。グループ校にて、美容に関する授業ならびに行事における専門分野の技術提供を行い、交流を促進した。